

令和 8 年度 調布市立滝坂小学校 学校経営方針

「笑顔があふれ 夢を育む 滝坂小学校」を目指して

1 本校の教育目標

- ◎ よく考え すすんで学習
(すすんで学習し、自分を見つめ考えながら課題に取り組む子供「問題解決力」)
- 強いからだ やりぬく心
(健康な体をつくり、粘り強い心をもって行動する子供「実践力」)
- 人に親切 仲良く協力
(優しい心をもち、仲間と協力できる子供「人間関係形成力」)

2 目指す学校像【「つくる」「つながる」「つたえる」学校】

- ◇「つくる」…子供たちが変化する社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動(フットワーク) 活動を創造する。
- ◇「つながる」…①子供の学びと成長のために、教職員、子供、保護者、地域がつながる。(チームワーク) ②互いに学びあい、助け合い、高め合いながら教育活動を進められるよう、教職員同士がつながる。
- ◇「つたえる」…透明性の高い学校を目指し、教育活動の取組を積極的に保護者、地域に発信する。(ネットワーク)

3 学校の教育目標を達成するための基本方針

(1) 「よく考え すすんで学習」する児童を育成するために

- ・教科担任制を通して各教科の指導方法を改善
- ・他者と協働して「習得」「探求」「活用」する過程における問題解決学習の推進
- ・モバイル端末の効果的な活用による情報活用能力の育成

(2) 「強いからだ やりぬく心」をもつ児童を育成するために

- ・基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上
- ・健やかな体の育成、継続する力、諦めずに取り組む力の醸成

(3) 「人に親切 仲良く協力」する児童を育成するために

- ・人権教育を基盤とした全教育活動の推進
- ・道徳教育の推進による豊かな心の育成

(4) 教育目標達成に向けたその他の事項

- ・児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ・学校運営協議会、地域学校協働本部等と連携し、地域文化や人材を活用した学習の実施

4 指導の重点

特色ある教育活動

- ・学校運営協議会、地域学校協働本部や PTA 活動、地域団体等との連携を強化し、様々な支援を受けたり、協働を推進したりして、教育活動の一層の充実を図る。また、多彩なゲストティーチャーを招聘するなどして、児童の興味関心を高める教育活動を展開する。

学習指導

- ・教科担任制の実施によって発達段階に応じた指導体制を構築し、授業改善に取り組む。
- ・課題解決をするために必要な「思考力・判断力・表現力等」を育むために、ペア・グループ・全体での交流場面の設定や学習ルールの徹底を推進する。
- ・対話の中で、表現力・発信力の伸長、聞く・観る態度の育成により深い学びを実現する。
- ・オリンピック・パラリンピック教育に関連付けて、スポーツ志向の児童を育成する。
- ・「体力アップマラソン」や「大なわ大会」の取組を工夫し、体力の向上を図る。
- ・モバイル端末や ICT 機器の計画的な活用により、情報を活用・表現する力を育む。
- ・外国語では、言語活動を ALT や視聴覚機器の活用で楽しく学び、対話項目の定着を図る。

特別活動

- ・年間指導計画に基づいた実践を通し児童の「心の居場所」となる学級・学年・学校を創造する。4、12月には「いのちの授業」を行い、かけがえのない生命を尊重する心を育成する。
- ・学校行事を通し、集団への所属感を深め、協力して活動する自主的・実践的態度を育成する。
- ・委員会、クラブ活動、キャリア教育の充実等、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度の育成を重視する。

特別支援教育

- ・特別支援教育への理解を深め、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。
- ・特別支援コーディネーターを中心に、全教職員で支援の必要な児童に組織的に対応する。
- ・わかくさ学級と通常級との交流や副籍交流を計画的に行う。

生活指導

- ・学校いじめ対策委員会を中心に組織的対応を行い、「いじめ認知、解消 100%」を目指す。
- ・「は・あ・と」（話を聞く・挨拶をする・友達と仲良くする）を合言葉に教職員の共通理解のもと、継続した指導を行う。
- ・不登校、集団不適応、問題行動については、組織的な取組により迅速的確に対応する。
- ・食物アレルギー対応マニュアルに基づき、緊急時に適切な対応ができるように研修する。

進路指導

- ・自己肯定感を高め、個性や能力を生かして自己実現を目指す児童を育成する。
- ・キャリアパスポートを作成することで、児童が自分の未来に対して希望を抱けるようにする。